

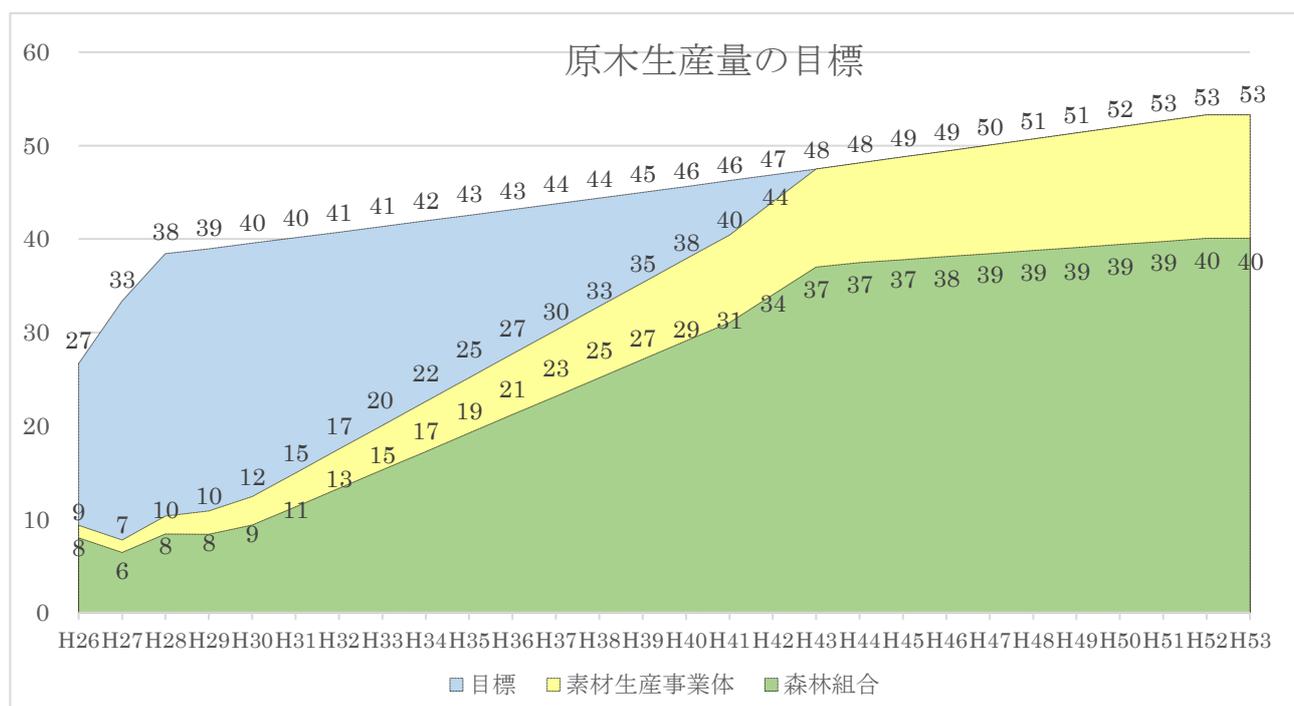
## IV 25年後の大田市の森林・林業・木材産業等の姿(成果)

### (1) 森林を活かし地域産業を伸ばす

項目	H26	H33	H43	H53	備考
①原木生産量(千 m <sup>3</sup> )	9	20	48	53	資源造成に係ることから中・長期の目標を設定
うち森林組合	8	15	37	40	
②伐採技術者雇用者数(人)	0	15	37	39	
③木材製品出荷量(m <sup>3</sup> )	4,838	5,800			需要動向は人口動態や輸入製品動向などの情勢変化が著しいことから短期目標を設定
うち人工乾燥	2,555	3,100			
うち天然乾燥	1,519	1,900			
④公共建築物への県産材(市産材)利用率(%)	—	100			市産材認証制度等の仕組み構築に併せ短期目標設定

\*H29から取り組み展開

#### ①原木生産量(千 m<sup>3</sup>) 目標



## (2) 森林を守り育て公益的機能を伸ばす

項 目	H26	→	H33	→	H43	→	H53	備考
①伐採跡地の植林等に 係る技術者雇用者数 (人)	39						26	資源造成に係ることから中・長期の 目標を設定
	* 伐採跡地の再生に係る技術者数を計上							
②森林経営計画策定面 積(ha)	8,565		19,272					原木生産目標を 実現するため短期目 標設定

## (3) 森林を使い次世代につなげる

項 目	H26	→	H33	→	H43	→	H53	備考
①出前講座等の実施回 数(回)	2		10					取り組み者数の増 加を早期に実現す るため短期目標を 設定
②みどりの少年団活動 者数(人)	1,810		3,600					



## 2) 高度な技術を有する人材と事業体の育成

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
木質バイオマス発電原料需要に応じた伐木・造材	・全木伐採・搬出技術の導入	取り組むべき技術	検討：森組・県 技術習得：森組			
企画力を有する人材の育成	・森林や施業の集約化、路網計画、原木生産方法や収益、再生・保育方法や費用など総合的に企画・提示・実践能力の向上 ・人材をフル活用する体制の整備	集約化技術向上	森組・県			
		主伐収支積算能力向上	森組・県			
		再生・保育経費軽減能力向上	森組・県			
		組織体制の強化	森組			
		組織体制強化の支援	市			
技術定着の取組支援	・多様な技術を有する者との就業マッチングやフォローアップ研修等	支援策検討	市			
		学校訪問等マッチングなど展開	森組・市			

\* 取り組み主体一覧：森組、県、市

## 3) 安定的かつ効率的な原木流通体制の強化

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
原木需給情報等の共有	・製材原木需要、原木価格や伐採情報など需給情報を各分野で共有する仕組みづくり	グループ化：市場・森組・製材・市 情報共有の仕組み構築：上記				
原木安定供給の仕組みづくり	・市と市場との原木供給協定 ・バイオマス原料供給の仕組み	市有・市行造林供給可能量等把握、検討：市 市供給協定の仕組み研究：市・市場 バイオマス原料供給の仕組み研究：森組・市場	市供給協定の仕組み構築：上記			
原木の需給マッチングの取組	・市場や製材所による採材指導	採材指導実行：市場・製材				
市場機能の拡充・強化	・土場での仕分け、ストック機能の強化 ・商流と物流の分離による流通コスト削減の取組 ・サテライト土場の検討	関係者協議・研究：市場・製材・森組・市・県 仕分け・ストック機能強化支援策検討：上記	市場運営方式検討：上記 取扱量に応じて関係者協議：上記			

\* 取り組み主体一覧：森組、市場、製材、設計、建築、市

#### 4) 競争力ある木材産業の成長産業化

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
品質の確かな木材製品の供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAS認定に加え、ヤング係数表示による強度・性能明確化の仕組みづくり</li> <li>・製品ストックヤードや加工施設の強化</li> </ul>	関係者仕組み協議：製材・設計・建築・市 仕組み構築・実行：製材 原木増産状況に合わせ	強化・研究・検討			製材・市
原木の品質確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で枯渇する樹種の仕入れ支援による加工能力(ブランド製品)維持の検討</li> <li>・マツ材等貯木手法検討による生産時期の平準化</li> </ul>	仕入れ場所の 市内製造 試験研究成果検証 検証課題解決手法検討 閑散期施設稼働率	推移等詳細把握 製品の認証・支援策研究 製材・県 製材・市・県 向上検討			上記
高品質・高付加価値化商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実需者の要望(ねじれ・乾燥等)に対応した高品質化</li> <li>・小径木や端材を活用した商品や大径材を活用した商品の開発</li> </ul>	要望把握・対応検討 試験研究等開発・改善 既存商品動向・実需要望把握 試験研究等開発・改善の取組		要望等の状況に 応じ終期まで随時取組		製材・市・県
スギ・ヒノキの増産に伴う活用推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・建築と連携を図り、スパン表を活用した梁・桁等構造材供給の取組加速化</li> <li>・設計・建築と連携した、床下地・押入・天井など住宅部材活用検討</li> <li>・間柱等の生産体制の強化による稼働率向上</li> </ul>	設計・建築・加工・原木生産協議 性能・強度表示 住宅部材活用研究 供給先等需要動向の把握 強度・耐震などメリット整理とPR	建築・市・県 統一規格検討・実践 製材・設計・建築・市 製材・市・県 上記			上記
端材等の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマス発電原料利用に加え畜産等の地域利用検討</li> </ul>	供給先等需要動向の把握 価格・形状・供給手法等把握				製材・市 上記

\* 取り組み主体一覧：市場、製材、設計、建築、県、市

## 5) 木材製品の販路・販売の拡大

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
木材を使う家造りの意義の啓発	・原木生産、流通、加工、設計、建築、森林整備の事業者一体となった営業・宣伝の実践	見学会・パンフレット・設計・建築 → 各事業者の取組展開 → ケーブルテレビ、パナール →	・モデルハウス・宣伝等手法 → 上記			検討：市
市産材認証の仕組みづくりと民間への波及促進	・市産材認証の仕組みづくり ・民間建築での利用促進	関係者協議の場づくり：市 → 認証の仕組み構築 → 公共建築物での利用状況 →	・実行：市・森組・市場・製材・設計・建築			・助成制度等PR：市
地域材供給体制構築	各工場連携による家一軒分の部材供給の仕組みづくり	課題等関係者協議の場づくり → 供給の仕組み構築 →	・市・県			・製材・建築・設計
営業機能の強化	・原木生産、流通、加工、設計、建築、森林整備の事業者共同の営業活動拠点開設検討	共同の拠点づくり →	研究：市・建築 → 拠点設置 → 市内外でのマーケティング活動強化と支援 → 製材・建築・市			・取組支援：市

\* 取り組み主体一覧：森組、市場、製材、設計、建築、県、市

## 6) 公共建築物等における木材の利用

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
公共建築物の木造化・木質化の推進	・大田市木材の利用促進に関する基本方針の実行確保	庁内会議での実行管理 → 木材利用事例集作成・配布 → 関係各課への利用促進説明会開催 →	市			
市産材認証の仕組みづくりと民間への波及促進(再掲)	・市産材認証の仕組みづくり ・民間建築での利用促進	関係者協議：市 → 認証の仕組み構築 → 公共建築物での利用状況 →	・森組・市場・製材・設計・建築			・助成制度等PR：市

\* 取り組み主体一覧：森組、市場、製材、設計、建築、市

## (2) 森林を守り育て公益的機能を伸ばす

### 1) 生産（伐採）の体系

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
伐採時期を明確にした森林管理（経営）の推進	需要動向や生産目標に応じた伐採期間による管理（経営）の実行	意識共有と普及：市 → 経営計画等に反映：市・森組 →				

\* 取り組み主体一覧：森組、市

### 2) 持続可能な森林管理（経営）システムの構築

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
森林情報の共有や活用の仕組み構築	伐採届け、森林経営計画策定、森林整備関係補助事業等実施者が連携し、伐採・再生・保育箇所や森林所有者等の情報を共有する仕組みづくり	事業体連携協議の場づくり：市 → 役割協議：市・森組 → 利活用のルール協議：上記 → 情報共有の仕組み構築：上記 →				
森林所有者への働きかけ	・ 森林境界の明確化や適期作業の周知 ・ 森林の集約化の必要性等周知	広報・機関誌等による周知：森組・市 → 関係者一体の座談会開催：森組 →				
持続的に森林管理（経営）を行う事業体強化	○ 高度な施業技術と林業管理（経営）の修得 ・ 伐採時の収支や植栽・保育の経費・技術を有す体制整備 [森林の集約化能力向上] [伐採の技術とコスト削減の技能・知識] [最適再生手法と再生コスト削減の技能・知識]	伐採・植栽・保育技術並びに経費等の経営能力研修参加：森組 → 森林の集約化に併せ提案能力研修企画：森組・県 → 体制構築の検討：森組・市 →				
森林管理（経営）の新たな仕組み研究	・ 森林の信託経営等の仕組みの研究		先進事例調査：市・県・森組 → 森林信託経営の研究：市・森組 →			

\* 取り組み主体一覧：森組、県、市

### 3) 確実な森林再生と森林管理(経営)の低コスト化

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
森林再生の確実な実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生の初期投資の軽減</li> <li>・適地適木の徹底</li> <li>・森林管理と経済性確保可能な植栽樹種の検討</li> <li>・低密度植栽の導入</li> <li>・コンテナ苗を活用した伐採と植栽を連携して行う一貫型施業の導入</li> </ul>	研修参加技術習得：森組 → 組織内研修現場取組展開：森組 → 抵抗性マツ、広葉樹など幅広い植栽樹種研究：森組・市 → 研修参加技術習得：森組 → 組織内研修現場取組展開：森組 → 研修参加技術習得：森組 → 組織内研修現場取組展開：森組 → コンテナ苗木生産検討：森組・市・県				
森林管理(経営)の低コスト化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適期適作業の徹底</li> <li>・低密度植栽地の保育回数の減等低コスト化</li> </ul>	組織内研修現場取組展開：森組 → 研修参加技術習得：森組 → 組織内研修現場取組展開：森組 → 先進事例調査検討：森組・市・県				

\* 取り組み主体一覧：森組、県、市

### 4) 災害に強い森林づくり

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
公的機関の森林整備推進	・保安林制度や当該制度を活用した森林整備法人による森林整備を推進	該当地調査(毎年)：森組・市 → 県・法人へ実施の働きかけ：森組・市 →				
森林の適正な整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採跡地の適地適木の植栽(再掲)</li> <li>・間伐や広葉樹の更新作業など適期適作業の徹底(再掲)</li> </ul>	研修参加技術習得：森組 → 組織内研修現場取組展開：森組 → 組織内研修現場取組展開：森組 →				
施業技術の改善	・切り捨て間伐技術の改善や伐採時の枝葉など処理の徹底	研修参加技術習得：森組 → 組織内研修現場取組展開：森組 → 先進事例・新たな技術情報収集：森組 →				

\* 取り組み主体一覧：森組、市

### 5) 森林の多様性の確保と森林管理(経営)

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
森林の多様性を有する地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路網からの距離、周辺の植生状況、管理（経営）経費等を踏まえた針広再生の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内伐採規模等事例調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市・森組・県</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工林と天然林のモザイク配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メリット・デメリット整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市・森組・県</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採事業者等と管理(経営)規模</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手法協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>森林所有者への普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森組</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>集約化地域への普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森組</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採事業者等と伐採規模</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手法など協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森組・市</li> </ul>		

\* 取り組み主体一覧：森組、県、市

### (3) 森林を使い次世代につなげる

#### 1) 教育分野と連携した森林への理解促進

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
世代ごとの森林理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校で緑の少年団結成</li> <li>森林作業体験等の企画</li> <li>職業紹介など就業促進</li> <li>森や木とふれあう場の提供</li> </ul>	学校等への働きかけ：市 緑化推進委員会と連携し結成促進：市 緑の少年団活動支援：市	関係団体と連携し体験活動企画・協議：市 体験活動実施：市等関係者	就業イベント参加や学校訪問：上記 市の各部署と連携・協調したふれあいの場の設置研究：市		
市有林等の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有林の学校林活用</li> <li>市産材の活用(机等)</li> </ul>	候補地検討：市 少年団と利活用方法検討：市 利活用ルール協議：市	活用方法検討：市 関係者への協力要請・協議：市 関係者の実行体制構築：市・関係者			

\* 取り組み主体一覧：市

#### 2) 環境分野と連携した森林づくり

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
森林の多面的機能や森林環境を学ぶ場や機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業と連携した保全活動の取組推進</li> <li>森林・林業・木材産業等関係者による出前授業</li> </ul>	既存取組支援：市・県 新規企業への働きかけ検討：市・関係者	実施内容・手法等検討：上記 市内企業へ周知：上記 市内企業へ出前授業実行：上記			
市有林の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有林の貸し出し利用制度構築</li> </ul>	先進事例収集：市 貸し出し制度研究：市	貸出制度構築・運用：市			

\* 取り組み主体一覧：市

### 3) 地域活動への参画

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
地域活動に市民が参加しやすい環境整備や支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の広報による周知</li> <li>・補助事業等の情報提供</li> <li>・農業、畜産など異分野(イベント・地域起こし、鳥獣被害対策など)との連携</li> </ul>	広報等での周知活動：市・関係者 森林・林業・木材産業関係者と連携した周知活動：上記	連絡体制構築：市 情報提供：市・関係者	連携可能な取組情報収集：市 連携内容等研究：市・関係者	関係者と連携	取組実行：上記

\* 取り組み主体一覧：市

### 4) 観光・文化と連携した森林の利活用

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
地域資源を活用した森林理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国立公園               <ul style="list-style-type: none"> <li>・三瓶山麓施設や人的資源の積極的活用(木工館・キャンプ場・青少年の家・自然館サヒメルなど)</li> </ul> </li> <li>・近隣町と連携した森林セラピーの取組</li> <li>・市有林や市有地の活用</li> </ul>	連携可能な取組情報収集：市 作業路の遊歩道・サイクリング活用など内容検討：市・関係者 関係者・部署と連携	市有林等森林整備：市 取組状況情報収集：市	既存取組組織との研究・協議：市	作業路の遊歩道・サイクルロード活用検討：市 木製看板設置や簡易遊具について検討：市・関係者 家具等木の活用	コンクールなど研究：市
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界遺産               <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林の拡大防止の取組連携</li> <li>・市有林資源の活用</li> </ul> </li> </ul>	県の実証試験連携：市・県	木製イス等の設置・看板など研究・協議：市			

\* 取り組み主体一覧：県、市

### 5) 山村・伝統と木育の推進

具体的行動計画	主な取組内容	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
山村の伝統文化の体験など都市との交流促進	・炭焼き体験等と健康分野が連携した体験型ツーリズムの検討	事例調査・情報収集：市 ----->	関係部署・関係者研究・協議：市 ----->	取組の企画立案：市 ----->		
	・木育活動など都市住民への情報発信	取組事例調査：市 ----->	関係部署・関係者研究・協議：市 ----->	情報発信の仕組み構築：市 ----->		
木工体験などによる木へふれあう機会の拡大と意義の普及	・木工館と周辺イベント等と連携した木工体験	取組事例調査：市 ----->	関係部署・関係者協議：市 ----->	取組体制内容等協議・実行：市・関係者 ----->		

\* 取り組み主体一覧：市

## VI 構想の推進体制

構想推進にあたっては、下記関係者により問題や課題、推進方向等の共有化を図り推進管理を徹底し、毎年度成果を検証・報告します。

また、取り組みの成果と課題を踏まえた計画の修正や新たな取り組みの新設など、状況やニーズに応じた見直しを随時行い、柔軟かつ機動的な対応を図ります。

### 1 推進体制

推進体制の委員は、構想策定委員会のワーキング委員をもってこれにあたることとする。

[関係団体・機関]

- (1) 森林組合
- (2) 木材市場協同組合
- (3) 木材協会大田支部
- (4) 建築士会
- (5) 建築組合連合会

[民間活動・学識経験等]

- (1) 森林関係地域活動
- (2) 森林等学識経験者

[行政等]

- (1) 市
- (2) 県機関

### 2 進捗状況の管理

推進体制の事務は、産業振興部森づくり推進室において処理する。

毎年度当初、取り組みの評価等を行うため会議を開催し、前年度の成果、取り組み状況報告など各委員が行うとともに、取り組みの成果や課題を踏まえ当該年度の具体的な活動計画を樹立し構想の実現を図る。

また、年度の中間期に取り組み状況を報告するとともに、情勢の変化等ある場合、機動的に会議を招集する。

### 3 成果の報告

成果指標は、毎年度把握するとともに取り組みの状況と合わせ、市のHPにおいて報告する。

\*連携機関

島根森林管理署、島根県林業公社、森林総合研究所松江水源林整備事務所、中山間地域研究センターなど